



【教育目標】

自立に向かう生徒

ゆめ おり ばし

夢織橋

味方中学校だより No.1 2

令和6年3月19日発行

<http://www.ajikata-jhs.city-niigata.ed.jp/>

令和5年度 後期終了!! (3月19日) ～1年間の一人一人の成長をかみしめて～

3月19日(火)に令和5年度の後期が終了し、後期終業式が行われました。全校生徒を代表して2名の生徒が後期の振り返りを語ってくれました。まもなく最高学年、中堅学年になる1、2年生の心意気が伝わる素敵な語りでした。

1年A組

僕が今年度ががんばったことと、来年度がんばりたいことについて話します。がんばったことは三つ、がんばりたいことは四つあります。

最初に今年度ががんばったことについて話します。一つ目は、勉強です。小学校のころの宿題がなくなり、中学校ではワーク点検になりました。テストが難しくなって教科が増えたので、小学校の時より、がんばって勉強しました。二つ目は、部活です。小学校のころはクラブでしたが、中学校になって部活になりました。より本格的になり、やる時間も長くなりました。三つめは提出物です。ワーク点検とは別の提出物も増えたので、最初の頃は大変でした。だけど大切なものなのでしっかり提出しました。

次に、来年度がんばりたいことについて話します。一つ目は、掃除です。新1年生が入ってくるので、きれいな学校で生活できるように掃除をがんばりたいです。二つ目は、部活です。自分に後輩ができるので分からないことを教えていきたいです。三つめは、委員会です。二年生になるので、さらに学校のことや行事に貢献していきたいです。四つ目は、勉強です。二年生になるので一年生の内容が分からないと授業についていけないと思います。さらにテストの内容も難しくなるので、今のうちにしっかり復習していきたいです。春休みにしっかり二年生になるための準備をして、新年度を迎えたいです。

2年A組

僕が後期に頑張ったことは二つあります。

一つ目は、勉強です。二年の後期から、より一層勉強に励むようになり、テストで高得点を取れると自信がもてるようになりました。今では、テストが返ってくるごとにドキドキしていますが、楽しみになりました。これからも良い点数をとれるように頑張っていきたいと思います。

二年生になってから、卓球部の部長という立場でみんなを引っ張れるように頑張りたいと部長になる前は思っていたのですが、いざ部長になって練習を考えたり、まとめようとしても思うようにならず、この練習の仕方みんなが成長できるかどうかずっと不安でした。「歴代の部長は、どんな練習をしていたっけ？」

「どんな話し方でみんなをまとめていたっけ？」などと思い出しながらやってもあまりうまくいきませんでした。ですが、周りの友達に助けてもらいながら、なんとか練習を続けていくことができ、上達していく一年生や二年生の姿を見るとすごく嬉しく思いました。あと数か月の部活動もみんなと協力して頑張っていこうと思います。

三年生になってからは、本格的に受験勉強が始まるのでテストで良い点数を取れるように、そして合格できるように頑張っていきたいです。

二人とも、この1年しっかりと自分を見つめ、よく考えて様々な活動に取り組んできたからこそ言える、素敵な内容でした。

一年生の来年度頑張りたいこととして挙げていた「掃除」には特に感心しました。大体的場合、「来年度頑張りたいこと」は、自分自身のことが多いと思います。もちろん自分自身のことを目標に掲げることはとても大切なことであり重要です。自分自身のことについても述べつつ、加えて新1年生の立場に立って「清掃」を挙げていました。この**相手意識をもって、日常生活を過ごしていくことは極めて重要です。相手の立場に立つことは、コミュニケーションを図るうえで欠かせません。また、自分以外の視点に立つことは、様々なことをよりよいものにしていくうえでも欠かせません。**「清掃」する姿にその人自身の心がはっきりと表れると思っています。

二年生の「周りの友達に助けをもらいながら、なんとか練習を続けていくことができ、上達していく一年生や二年生の姿を見るとすごく嬉しく思いました。」という言葉には感銘を受けました。この学校だよりでも何度か伝えてきた次の言葉を体現しています。

何でもうまくいくことがよいことではありません。悩んだり、迷ったり、工夫したり、挑戦したりするからこそ力が付きます。失敗大いに結構。苦手な事への挑戦お見事。恐れることはありません、まずやってみましょう。行事でも、授業でも、委員会でも、清掃でも、部活でも、この味方中で体験できることに何でも取り組んでみましょう。困ったら困ったと言いましょ。うまくいかなかったら助けをもらいましょ。この味方中学校にはみなさんを支えてくれる仲間、教職員がいます。

失敗しながら、間違いながら、悩みながら、工夫しながら、仲間のよさをマネしながら、挑戦しているうちに、少しずつ少しずつ力がついてきます。その力は、みなさんにとって将来生きていくために必要な力です。
〔味方中学校学校だより「夢織橋」第8号 10月17日発行 より〕

悩み、工夫し、仲間と共に挑戦してきた過程こそが宝です。味方中学校は、将来生きていくために必要な力をつける所です。さあ、この味方中学校の仲間と共に来年度も力強く進んでいきましょう！



〈合唱祭〉合唱祭を通して、学級の絆が一段と深まり、学級の力がぐんと高まりました。

〈全校ファシリテーション〉秋の総合的な学習発表会後、今年度の学びの成果と課題を全校で語り合いました。

〈雪かき〉今年一番の大雪の朝、気づくと数十人の生徒が雪かきをしてくれていました！！かっこよかったです！

〈防災学習〉地域の方と共に避難所運営についてじっくり考えました。縦割り活動でも深い話し合いができます。

〈授業〉問題意識を大切にしながら、よく思考し、語り合う授業によって一人ひとりが力を付けています。

〈卒業式〉卒業生、在校生、教職員みんな涙、涙、涙の感動的で忘れられない素敵な式になりました。



令和5年度 後期 一つ一つ紡いできた味方中学校全校の絆

来年度へ続く！！

〈地域 保護者のみなさまへ〉

1年間、味方中学校の教育活動に対しまして、ご理解、ご協力ありがとうございました。おかげさまで、令和5年度後期の教育活動も充実したものになりました。後期の教育活動でも「子ども自らがよく考え、主体的に行動する」ということを大切にしてきました。子どもたちは、よく考え、悩みながらも精一杯自分（自分たち）から動こうとしていました。この過程こそが大事だと考えています。

来年度も教育目標「自立に向かう生徒」の育成を目指して、さらに一人一人に力をつけていきたいと思っています。令和6年度も何卒よろしく願いいたします。